

(活動報告書様式)

団体名	やまがたの自然の魅力！満喫プロジェクト		
事業名	小学校高学年向け自立キャンプと SNS によるコーチングサポート		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：ひとり親家庭支援活動支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1,448,754 円
		うち助成金額	975,784 円

■事業目的

ひとり親の支援に必要なことは、食事や住居の提供に加え、その後に必要なのは、思春期以降の子どもの教育である。中学校、高等学校の教育現場では、一人親家庭であることをハンディキャップとせず、たくましく成長し続ける子どももいる反面、一人親家庭であることを理由に、様々な挑戦を諦める子どもも見受けられる。その大きな分かれ目は、思春期前期の小学校5年生、6年生の時期にあると考えている。この時期に、家庭環境は関係なく、自分の挑戦とその後の改善によって道が開けることを学習した子どもは、どのような場面でも前向きでいられる。そのことを子どもたちに実感してもらいつつ、3カ月間のサポートが受けられるプログラムを提供することで、ひとり親世帯の教育環境の改善の一助となることを目的とする。

■事業内容

ひとり親家庭の6年生 10名対象に、サポートプログラムを実施した。具体的に、次の4つの活動である。
○自立を促す宿泊体験：1泊2日で宿泊体験を実施した。その中で、自然体験プログラムとともに火起こしや炊飯活動など、大人の関わりを減らしながら活動を展開し、自立を促すプログラムを実施した。また、このときに、自分の将来の姿をイメージするための「宝地図づくり」も実施した。11/2(火)-3(水)

○SNS におけるコーチング：参加児童にスマートフォンとパソコンを貸与し、3.5ヶ月間、毎日の成長と改善点の振り返り、気づきのシェア、それに対してコーチング的コメントでフィードバックを行った。また、毎週水曜日の20時から「7つの習慣」を実践するためのミーティングと、毎週日曜日の17時から「一週間の振り返りと翌週の重点目標づくり」を実施した。11/3(水)-2/11(金)

○五感を刺激する自然体験プログラムの提供：ストレス緩和のための自然体験プログラムを、宿泊体験のプログラムの中で、実践し、自宅に戻って活用できるようにサポートした。11/23(火)

○ひとり親サポート：悩みに共感しつつ、参加児童がスマートフォンをコーチングのツールとしてうまく使えるようになるために協力してもらえぬ関係性を構築した。

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

ひとり親世帯の子どもさんたちが、自然体験プログラムなどを活用し、ストレスの対処法を身につけ、家庭でも実践できるようになっている。自分の考え方を变えることで、自分の学級の状況や友達との関係性を变えることができると実感している。そして、自分は「やればできる」という自信を持つことができるようになってきている。保護者の悩みを聞くところまでは行かなかったが、中学校

生活への不安に関して、面談を通して、サポートすることができた。参加児童に関しては、自らプラスの習慣を作るコツを掴むことができた児童が3名いた。つかみつつある児童は2名。ただ、途中で継続が難しくなった児童も5名ほどいた。保護者の関わる時間が、参加児童への意識にも差となって現れることがわかった。次年度以降は、取り組みの継続が難しい児童へのサポートについて検討していく必要があると感じた。

②今後の展望

今回実施するプログラムのコーチ役を務められる中学生(R4以降)が3名育ったので、SNSの利用料金をサポートしてくれる団体を探し、連携して、継続的に、ひとり親世帯の子どもの自立を応援するプログラムを提供していきたい。今回は、10名募集にしたため、募集に相当なエネルギーを費やしてしまった。この反省をもとに、今回、育った3名が先生役となってサポートできるような仕組みを確立していきたい。近い世代の子供同士が、相互にコーチングできる環境を作ることで、自尊感情の向上にも貢献できると考えている。

